

幼児教育の観点から画期的な「こども歌劇®」を推薦します

大垣女子短期大学 幼児教育学科 教授 松村 齋

これからを生きる子どもたちには、相手を尊重し、自己を大切に出来る「こころ」を育みたい。それは保護者のみならず、幼児教育や保育に携わる全てのひとの願いである。幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂において頻繁に引用されるように、「主体性の尊重」や「子どもたちの自己発揮」は乳幼児保育の段階から積極的に育むべきものである。



株式会社 PETIPA の桐生のぼる氏および谷口 真実子氏による「こども歌劇®」には、さまざまな「教育的テーマ」が随所に散りばめられている。保育者を通じて、子どもたちのゼロ歳からのしっかりとした養護と主体性の涵養、ならびに自他への愛着形成に深く寄与する、画期的な保育者向け教材である。

代表の桐生氏は、多くの皆様をご存知の元宝塚歌劇団星組スターであった経歴を持つ。その宝塚で培ったノウハウを、現在は幼児教育や保育の現場で活かし、保育者に寄り添いながら、全国各地での研修・指導を精力的に続けている。また、谷口氏は、優れた脚本家兼魅力的な俳優であり、桐生氏とともに会場や保育現場の雰囲気を一変にさせてしまうほどの感動的な舞台を創っている。

両氏による「こども歌劇®」は、脚本の分かりやすさや親しみやすさもあり、全国の幼児教育や保育の分野の保育者からもすでに圧倒的な支持を得ており、多くが発表会において活用され、子どもたちが輝き、その成果に保護者が満足されている。そして、それは多忙な保育者の負担軽減となり、何よりも保育者自身が発表会に対して自信を持って取り組み、自らの仕事に誇りが持てるようになったと園長先生方からも高い評価も得ている。

子どもも保護者も、保育者も、全ての人が輝ける社会を形成するため、子どもの「こころ」教育を充実させるために「こども歌劇®」を推薦します。

<主な著書>

子どもと保護者の心に寄り添う エピソードで学ぶ特別支援教育 A to Z (小学校編)

子どもと保護者の心に寄り添う エピソードで学ぶ特別支援教育 A to Z (幼児編)

その他多数

保育士・教師になるための“みちしるべ” (共著)

保育者・小学校教諭・特別支援学校教諭のための教職論 (共著) その他多数